



# IFC 年次報告書 2023 ハイライト

世界中の国々が複合的な危機の影響への対応に追われる中、民間セクターの力を活用して人々の生活水準の向上を実現すべく、IFCは2023年度、途上国の民間企業と金融機関に対し、過去最高となる437億ドルに及ぶ投融資を承認しました。

## マクタール・ディオップ

IFC長官からのメッセージ



世界経済は急減速し極度の貧困が拡大するとともに、気候変動による危機が激化し新たな紛争が勃発するなど、本年も引き続き世界に数多くの難題が突き付けられました。これらの複合的な危機が深刻化する中、IFCは大規模かつ迅速に対応しました。特筆すべきことは、従来の業務のやり方では不十分であるという認識の下、危機の超克に向けて一段と高い志を持って取り組んだということです。

こうした取り組みが奏功し、2023年度、IFCは多くの成果を上げることができました。投融資承認額はIFC史上最大となる430億ドル以上に達しました。気候変動関連の承認額も140億ドルを超えるなど記録を更新し、ジェンダー関連でも目標額を上回りました。さらに外部のパートナーからの資金動員額も150億ドルを超え、新たな記録を打ち立てました。

この実績自体も素晴らしいものですが、我々が注目すべきはこの数字が真に意味するもの、すなわち、創出された雇用、金融サービスを利用できるようになった女性起業家たち、温室効果ガス排出量の大幅な削減といった成果です。加えて、本年度の実績は、IFCが現在進めている組織変革を物語っています。IFCは、官僚主義から脱し、最前線で働く職員がより多くのリスクを取って差し迫るニーズにより迅速に対応できるよう、いくつかの改善を行いました。この結果、危機を食い止めインパクトをもたらす大胆な施策に打って出ることができました。

IFCは、基準の設定、革新的な金融ソリューションの開発、持続可能なインフラ構築における官民パートナーシップの活用、さらには資金動員といった多様なツールを世界中で駆使することで、インパクトの拡大を目指しています。世界経済の基幹を成す創意あふれた起業家を支援しており、カメルーンやキルギス共和国の小規模企業が融資にアクセスできるようになりました。また、中小零細企業が抱える5兆ドルを超える資金調達ギャップへの対策の一環で、未開拓ながらも大きな可能性を秘めた女性起業家向けの支援も重点的に行っています。

さらに、最も脆弱な環境にある人々が食料を手にすることができるよう、60億ドルのグローバル・フード・セキュリティ・プラットフォームを立ち上げ、変動の激しい食料市場の安定化に加え、食料サプライチェーンを構成する企業に不可欠な融資を行えるよう尽力しました。

食糧安全保障から気候変動と世界的な難題への取組みにおいて、先駆的な投資案件がはらむリスクを軽減し、民間の投資家が新興国市場や途上国にアクセスできるようギャップを解消することが肝要です。そのため、IFCは高いインパクトをもたらす投融資に潜むリスクを削減するべく、過去最大規模となる譲許的なブレンド・ファイナンスの投資枠を設け、中所得国の新たなニーズに応える新規ファシリティの導入にも引き続き取り組んでいます。現在、IFCは、30を超える資金動員の手段を有しており、世界初となるパリ協定に沿った新興国市場向け融資のポートフォリオであるMCCPワン・プラネットもその一つです。

世界銀行の世界銀行改革ロードマップは、相互に絡み合った世界的な課題に対処するために、我々のさらなる努力が必要であることを説いています。今年度も、我々はIFCの業務改善に継続的に取り組み、イノベーションを促し、人々の生活の向上を後押しする持続可能な民間セクターによる解決策のさらなる推進に注力しました。私は、本報告書で紹介するプロジェクトやイニシアティブを支えているIFC職員たちを本当に心強く思っています。彼らの優れた能力と、情熱、そして、その高い志をもってすれば、貧困にピリオドを打ち、地球を守り、包摂的な成長を生み出すより良い好循環を実現できると確信しています。

## マクタール・ディオップ

IFC長官

# 2023年度のプロジェクトから予測される成果



**1,150 万トン**

温室効果ガスの年間排出削減量  
(二酸化炭素換算)



**220 万～310 万人**

直接・間接雇用及び波及的な  
雇用創出効果 (推定値)<sup>1</sup>



**220 万件**

零細中小企業向けの新規融資件数。  
この内、140万件は女性が経営する企業を対象



**112 億ドル**

貿易金融における追加支援額



**49 万 6,000 戸**

新規支援の対象となる農家戸数



**3,450 万人**

直接固定回線・モバイル経由で  
インターネット接続が可能となる人数

1. 雇用数の推計値は、IFC の経済効果評価枠組みを用いて各プロジェクトごとに算出されている。同枠組みは、セクター別のモデルと国やセクターに関する様々な前提を用いて構成される。金融仲介機関における推計値は、IFC の資金が転貸されたもののみを対象とする。顧客銀行のポートフォリオは、IFC が提供した資金以上に拡大しており、IFC の資金支援が追加資金を誘引したこと、IFC とポートフォリオの拡大について契約上の合意があるなどが理由に挙げられる。この追加的な拡大によるものと厳密に特定することは困難であるが、数百万件の雇用創出の可能性はある。

# 業務ハイライト

年度別（6月末終了）（単位：百万ドル）

	2023	2022	2021	2020	2019
<b>投融資承認額<sup>1</sup></b>	<b>\$43,728</b>	\$33,592	\$31,803	\$28,616	\$25,520
<b>長期投融資承認額</b>					
IFC自己勘定分	<b>\$16,677</b>	\$12,569	\$12,474	\$11,135	\$ 8,920
プロジェクト件数	<b>325</b>	296	313	282	269
対象国数	<b>78</b>	68	71	67	65
資金動員分 <sup>2</sup>	<b>\$15,029</b>	\$10,596	\$10,831	\$10,826	\$10,206
シンジケートローン	<b>\$ 5,492</b>	\$ 3,475	\$ 3,647	\$ 4,989	\$ 5,824
IFCイニシアティブ、その他	<b>\$ 5,810</b>	\$ 3,311	\$ 3,693	\$ 3,370	\$ 2,857
アセット・マネジメント社（AMC）ファンド	<b>\$ 14</b>	\$ 248	\$ 244	\$ 50	\$ 388
アドバイザー活動による資金動員 <sup>3</sup>	<b>\$ 3,712</b>	\$ 3,562	\$ 3,246	\$ 2,417	\$ 1,137
長期投融資承認額合計	<b>\$31,705</b>	\$23,166	\$23,305	\$21,961	\$19,126
<b>短期投融資承認額</b>					
IFC自己勘定分 <sup>4</sup>	<b>\$11,027</b>	\$ 9,659	\$ 8,195	\$ 6,469	\$ 5,764
資金動員分	<b>\$ 996</b>	\$ 767	\$ 303	\$ 186	\$ 630
短期投融資承認額合計	<b>\$12,023</b>	\$10,426	\$ 8,498	\$ 6,655	\$ 6,394
<b>投融資実行額</b>					
IFC自己勘定分	<b>\$18,689</b>	\$13,198	\$11,438	\$10,518	\$ 9,074
シンジケートローン	<b>\$ 2,443</b>	\$ 2,589	\$ 1,309	\$ 2,231	\$ 2,510
投融資実行額合計	<b>\$21,132</b>	\$15,787	\$12,747	\$12,749	\$11,584
<b>ポートフォリオ・エクスポージャー<sup>5</sup></b>					
企業数	<b>1,928</b>	1,848	1,822	1,880	1,930
IFC自己勘定分	<b>\$70,069</b>	\$63,763	\$64,092	\$58,650	\$58,847
シンジケートローン	<b>\$15,312</b>	\$15,235	\$15,658	\$16,161	\$15,787
ポートフォリオ・エクスポージャー合計	<b>\$85,381</b>	\$78,998	\$79,750	\$74,811	\$74,635
<b>アドバイザー・サービス</b>					
アドバイザー・サービス・プログラム支出	<b>\$ 260.2</b>	\$ 250.6	\$ 244.0	\$ 274.4	\$ 295.1
IDA 融資適格国向けのプログラムの割合 <sup>6</sup>	<b>54%</b>	51%	54%	57%	59%

1. 投融資承認額は、長期投融資承認額と短期投融資承認額を含む。

2. 中核的な資金動員と定義。顧客の利益のために IFC が積極的かつ直接的に関与した結果、商業ベースで取り決められた IFC 以外からの顧客への投融資またはリスク共有型の資金を指す。IFC 自己勘定分に含まれる 11 億 2,800 万ドルのリスク移転分（ファンディングなし）を除く。

3. アドバイザー活動による資金動員には、IFC がリード・トランザクション・アドバイザーを務めたことにより、第三者から官民連携プロジェクトに動員された民間投融資と、IFC が民間セクターの顧客に対し、新規市場への参画、業務の多角化・再構築、または新規出資者を募るなどのトランザクション・アドバイザー業務を通じ支援したプロジェクトを対象とするコーポレート・ファイナンス・サービスが含まれる。

4. 短期資金融資には、グローバル貿易金融プログラム（GTFP）及びグローバル・トレード・サプライヤー・ファイナンス・プログラム（GTSF）を含む。

5. ポートフォリオ・エクスポージャーとは、(i) IFC の負債性金融商品への投資の承認済みエクスポージャー、(ii) IFC の株式投資の公正価値、及び (iii) 未実行の承認済み株式投資総額の合計。

6. 報告書中の、IDA 融資適格国及び脆弱・紛争地域向けアドバイザー・プログラム支出の割合（%）には、いずれもグローバル・プロジェクトは含まれない。

## 財務ハイライト

年度別（6月末終了）（単位：百万ドル）

	2023	2022	2021	2020	2019
純利益（損失）	\$ 672	\$ (464)	\$ 4,209	\$(1,672)	\$ 93
IDA 抛出現	-	-	213	-	-
IDA 抛出現控除前利益（損失）	672	(464)	4,422	(1,672)	93
資産合計	\$110,547	\$99,010	\$105,264	\$95,800	\$99,257
投融資	51,502	44,093	44,991	41,138	43,462
主要比率					
総流動性比率	104%	111%	114%	96%	104%
負債比率	1.6	1.6	2.1	2.2	2.2
利用可能資本（十億ドル）	34.8	32.5	30.7	28.2	27.8
必要資本（十億ドル）	21.1	20.1	20.5	20.3	21.8
資本活用比率 <sup>1</sup>	60.7%	62.0%	66.6%	72.1%	78.4%
実行済みポートフォリオ総額に対する 貸倒引当金の比率	3.7%	4.4%	4.9%	6.3%	4.7%

1. 2022年度よりIFCでは、これまで使用していた展開可能戦略的資本（DSC）に代わり資本活用比率（CUR）を採用している。これは、必要資本を利用可能資本で除して算出したもので、IFCの最新の自己資本フレームワークの下で自己資本比率の指標として用いている。CURとDSCの比率は（CUR=90%-DSC比率）という計算式で表され、一対一で対応している。

## 2023年度のアドバイザー・サービス・プログラム支出額

（単位：百万ドル）

合計	\$260.2	100%
<b>地域別</b>		
アフリカ	\$ 98.5	38%
東アジア・太平洋	\$ 34.2	13%
グローバル	\$ 31.7	12%
ラテンアメリカ・カリブ海	\$ 26.7	10%
南アジア	\$ 22.6	9%
ヨーロッパ	\$ 21.2	8%
中東	\$ 13.1	5%
中央アジア・トルコ	\$ 12.3	5%
<b>業務分野別</b>		
IFC産業グループ別アドバイザー業務内訳	\$171.8	66%
金融機関グループ	69.5	27%
トランザクション・アドバイザー	42.8	16%
製造業・農業ビジネス・サービス	37.3	14%
インフラ・天然資源	17.1	7%
破壊的技術・ファンド	5.2	2%
市場創出・地域アドバイザー業務	\$ 54.7	21%
環境、社会、ガバナンスを含むその他のアドバイザー業務	\$ 33.7	13%

「貧困にピリオドを打ち、地球を守り、包摂的な成長を生み出す  
より良い好循環を実現できると確信しています。」

マクタール・ディオップ IFC長官

## 2023年度の長期投融資承認額

2023年6月30日現在のIFCの自己勘定分(単位:百万ドル)

合計	\$ 16,677	100%
----	-----------	------

### 産業別

金融市場	\$ 8,602	51.58%
インフラ	\$ 2,447	14.67%
製造業	\$ 1,519	9.11%
農業ビジネス・林業	\$ 1,100	6.60%
ファンド	\$ 990	5.94%
観光・小売・不動産	\$ 765	4.59%
通信・情報技術	\$ 747	4.48%
保健医療・教育	\$ 505	3.03%
天然資源 <sup>1</sup>	\$ 2	0.01%

### 地域別

ラテンアメリカ・カリブ海	\$ 3,885	23.29%
アフリカ	\$ 3,755	22.52%
東アジア・太平洋	\$ 2,439	14.63%
ヨーロッパ	\$ 2,190	13.13%
南アジア	\$ 2,130	12.77%
中央アジア・トルコ	\$ 1,784	10.70%
中東	\$ 413	2.48%
グローバル	\$ 81	0.49%

### 商品別

融資 <sup>2</sup>	\$14,135	84.76%
株式 <sup>3</sup>	\$ 1,761	10.56%
保証	\$ 704	4.22%
リスク管理商品	\$ 76	0.46%

1. IFCの石油、ガス、鉱業に関連した活動を含む。

2. 融資タイプの準貸付商品を含む。

3. 株式タイプの準株式商品を含む。

## 2023年度ポートフォリオ・エクスポージャー<sup>4</sup>

2023年6月30日現在のIFC自己勘定分(単位:百万ドル)

合計	\$70,069	100%
----	----------	------

### 産業別

金融市場	\$26,986	39%
インフラ	\$10,146	14%
ファンド	\$ 6,929	10%
製造業	\$ 5,240	7%
観光・小売・不動産	\$ 4,210	6%
農業ビジネス・林業	\$ 4,075	6%
保健医療・教育	\$ 3,901	6%
通信・情報技術	\$ 3,778	5%
貿易金融	\$ 3,544	5%
天然資源 <sup>1</sup>	\$ 1,260	2%

### 地域別<sup>5</sup>

アフリカ	\$15,042	21%
ラテンアメリカ・カリブ海	\$14,688	21%
東アジア・太平洋	\$12,910	18%
南アジア	\$ 9,005	13%
ヨーロッパ	\$ 5,615	8%
中央アジア・トルコ	\$ 5,387	8%
グローバル	\$ 5,111	7%
中東	\$ 2,312	3%

### 商品別

融資 <sup>2</sup>	\$49,713	71%
株式 <sup>3</sup>	\$14,760	21%
保証	\$ 5,145	7%
リスク管理商品	\$ 451	1%

4. ポートフォリオ・エクスポージャーとは、(i) IFCの負債性金融商品への投資の承認済みエクスポージャー、(ii) IFCの株式投資額の公正価値、及び (iii) 未実行の株式投資の承認総額の合計。

5. 地域プロジェクトやグローバル・プロジェクトに含まれる国別シェアは除外。

## IFCとは

世界銀行グループの一員であるIFCは、新興国市場と途上国の民間セクターに特化した世界最大規模の国際開発機関です。

なかでも貧しい人々や脆弱な立場にある人々の雇用を創出し生活水準を改善するため、IFCは持てる資金、資金動員能力、知見、そして影響力を活かし、世界の100カ国以上で活動しています。



2121 PENNSYLVANIA AVENUE, NW  
WASHINGTON, DC 20433 USA

## 有益な情報

IFCウェブサイト: ifc.org

Facebook: facebook.com/IFCwbj

Twitter: twitter.com/IFC\_org

LinkedIn: linkedin.com/company/IFClinkedin

YouTube: youtube.com/c/  
InternationalFinanceCorporation

Instagram: instagram.com/ifc\_org/